

浜田市行財政改革実施計画 平成26年度報告・平成27年度計画について

現在取組んでいる行財政改革実施計画について、昨年度の取組実績及び今年度の取組計画について、別冊のとおり取りまとめを行いました。

概要については以下のとおりです。

なお、本計画については今年度が最終年度となります。

《平成26年度の状況》

	項目数	S	A	B	C	終了
1. 市民協働、業務外部化の推進	17	2	8	6		1
2. 機能的で効率的な市役所改革	13		9	2		2
3. 総人件費の抑制	6		5	1		
4. 施設運営や事務事業の見直し	14		9			5
5. 普通建設事業の選択と集中	2		2			
6. 連結対象の運営効率化	8		5	1		2
7. 自主財源の確保	10	1	5			4
合 計	70	3	43	10		14

【B評価となったもの】

- ・ 111 自治基本条例の制定 (P4)
引き続き「協働のまちづくり」に向けた気運の醸成を進めていく必要があるため。
- ・ 112 市民、地域との連携強化（地区まちづくり推進委員会の設立推進） (P5)
浜田自治区で地区まちづくり推進委員会の設立が進んでいないため。
- ・ 113 島根県立大学との連携 (P6)
行政体験実習生受入及び市民交流促進事業数が計画値に達していないため。
- ・ 114 リハビリテーションカレッジ島根との連携 (P7)
近隣県に医療系専門学校が開校し競争が激しくなった事もあり、入学生が前年より減少し、計画と比較しても大きく下回っているため。
- ・ 131 学校給食施設の統合 (P14)
当初計画から延期しているため。
- ・ 132 幼保一体化の検討 (P15)
幼稚園統合について、当面延期としたため。
- ・ 222 政策体系と予算、評価制度の連動 (P25)
総合振興計画の進捗管理について、評価制度との連動に至っていないため。

- ・ 242 業務の質・量に応じた適材適所な職員配置 (P29)
時間外勤務や年休取得日数等について、計画値との差が広がりつつあるため。
- ・ 322 時間外勤務の抑制 (P32)
前年度比10,500時間/年増加したため。特殊要因としては、昨年計上していなかった島根県西部豪雨災害の復旧に係る時間外勤務分について、平成26年度から通常分として計上している。
- ・ 624 経営改善計画の着実な履行(有)ゆうひパーク三隅 (P52)
赤字額の圧縮は計画に近い成果を上げているが、黒字化には遠い状況にあるため。

【S評価となったもの】

- ・ 133 小中学校・幼稚園用務員の嘱託化 (P16)
当初計画以上に嘱託化が進んでいるため。
- ・ 136 現業業務の見直し (P19)
平成28年度以降としていた「犬猫等の死体処理」「ごみ袋の配達」「古着回収」の民間委託について実施することができたため。
- ・ 722 財産活用 (P60)
計画を大幅に上回る財産売却効果が上がったため。

《今後の流れ》

- 平成27年7月24日 行財政改革推進委員会へ報告
- 平成27年8月12日 浜田市議会自治区制度等行財政改革特別委員会へ報告
- 平成27年9月 浜田市議会全員協議会へ報告
- 浜田市ホームページへ掲載